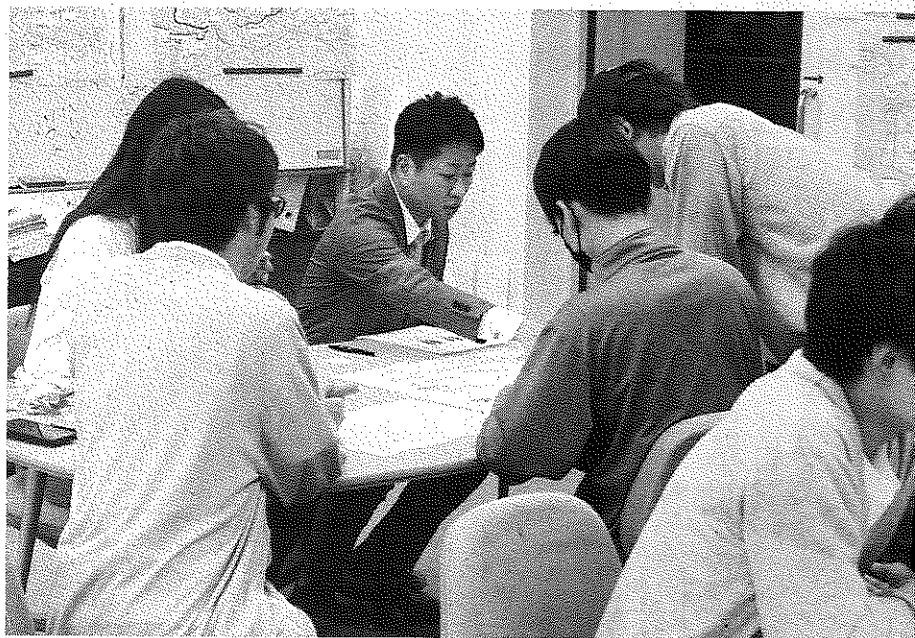


学生と「地域の誇り」考える

豊橋選出の 愛大でゼミに参加
中村 県議



シビックプライドについて学生と考える中村県議
●愛大豊橋校舎で

ープに分かれ、豊橋のシビックプライドを構成する「モノ」「コト」を考ええた。「市電」「のんほいパーク」「水上ビル」「ネオフェニックス」などと付箋に書いて台紙に貼り付け、「住環境」「自然」「文化」「食」などのカテゴリーに分けたうえで、自分たちの考えをまとめて発表した。中村県議もグループに入って一緒に考えた。

学生たちはその後、それを選んだ理由と一緒にまとめた中身を発表。続いて、シビックプライドに基づく将来に向けた豊橋の取り組みとしてどのようなことが考えられるかのアイデアを出し、発表した。最後に中村県議と駒木教授が講評した。

【山田一晶】

豊橋市選出の中村県議（自民）が17日、愛知大学地域政策学部のゼミ活動に参加した。2年生約20人と一緒に、「シビックプライド（地域の誇り）」を考えた。駒木伸比古教授が進め

る「豊橋の未来を考えるワークショップ」の一コマ。中村県議は昨年も参加し、「豊橋・東三河の魅力と課題」をテーマにグループディスカッションした。

市民の意識調査では、「市に愛着がある」と答えた18～19歳はもともと多く84%だった。皆さんのような若い世代の意見やアイデアはとても参考になるなどあいさつした。その後大学生が4グル